

南部丘陵の里山保全の担い手育成のため、保全緑地を活用した里山保全管理の実習と普及啓発プログラムの実践を試行しました。今後、周辺地域の大学生が自立した担い手として里山保全に関わっていけるよう、今回の試行では堺自然ふれあいの森のスタッフが講師となり、大阪府立大学の大学生を対象とした実習を行い、実習を受講した大学生が主体的に普及啓発プログラムの企画と実践を行いました。

令和4年
3月6日

保全緑地を活用した
里山保全の普及啓発プログラム

■普及啓発プログラムの実践

ふれあいの森の年間登録制イベント「ジュニアレンジャー」に参加している中高生向けに、学識者による講義と大学生による講義をオンラインで実施しました。



学識者および大学生によるオンライン講義の様子



講義のために作成したスライドや解説用の動画

みんなの力で、中高生が楽しみながら里山保全を学べるプログラムが実践できました。今後も里山保全の担い手として大学生達が活躍できる機会の創出を継続的に実施して行きます！！



教材動画の作成



企画の打ち合わせ



講義のリハーサル



教材スライドの作成

自分たちの体験を元に、中高生向けの里山保全に関する普及啓発プログラムを企画しました。



■里山保全管理の実習

保全緑地で植生調査と里山管理作業の実習を行い、調査に基づく里山保全管理の流れを体験しました。

《植生調査実習》

10m×10mのコドラートを設定して植生調査を行いました。調査結果から、目標とする森林やそのために伐採すべき樹木の検討を行いました。



コドラートの設置



調査方法のレクチャー



調査結果の考察



植物の同定と計測

《里山管理作業実習》

調査結果に基づいて、伐採すべき樹種を一つ一つ確認しながら、実際の整備作業を実施しました。



落枝や枯死木の片付け



伐採対象木の伐倒



剪定枝の処理



手入れ完了！

- 【開催日時】
〔里山管理実習〕
令和4年2月5日（土）
〔普及啓発プログラム〕
令和4年3月6日（日）
- 【対象者】
大阪府立大学の大学生
：6名
- 【学識者】
大阪府立大学
教授 加我宏之
- 【協力】
大阪府立大学大学院
客員研究員 鈴木真裕
- 【実習講師】
堺自然ふれあいの森
- 【オンライン講義参加者】
合計9名（6世帯）
中学生：3名
高校生：4名
大人：2名
- 【内容】
●保全緑地での植生調査
●保全緑地での里山管理
●ふれあいの森での
普及啓発プログラムの
企画と実践